

～在留邦人の皆様へ～

(件名)

インドの大気汚染と粒子状物質 (PM10 及び PM2.5) について (その3)

平成26年10月24日

在インド日本国大使館

1. インドでは、例年、雨期が終わり気温の低下する時期から、大気汚染が顕著となる傾向にあります^(出典¹)。また、Diwali 前後の時期には、爆竹の使用により、粒子状物質 (PM10 および PM2.5) を含む各種大気汚染物質の濃度が高い状態となる傾向があり、注意が必要です。

2. 一般的な対策

大気汚染対策として、汚染の激しい時には、一般的に以下の方法が考えられます。

- (1) 不要不急の外出を控える。
- (2) 外出時にマスクを着用する (「N95」という規格を満たしたマスクは、PM2.5 を 95% 以上遮断する)。
- (3) 屋内では空気清浄機等を使用する。

3. なお、インドにおける大気汚染物質の濃度については、以下のような情報サイトがありますので、お伝えいたします。

(1) デリー準州政府汚染制御委員会によるリアルタイム大気質データ

デリー市内数か所の観測点における、各種大気汚染物質 (PM10、PM2.5 等) の測定値が表示されます。

<http://www.dpccairdata.com/dpccairdata/display/index.php>

(2) インド熱帯気象研究所 (地球科学省) 大気質気象予測システム (S A F A R)

デリー市内 10 か所の観測点における、各種大気汚染物質 (PM10、PM2.5 等) の測定値および、翌日、3 日後の予測値が表示されます。

<http://safar.tropmet.res.in/>

(3) 当地アメリカ大使館及び各総領事館のリアルタイム大気質データ

デリー、ハイデラバード、コルカタ、チェンナイ、ムンバイの各都市 1 か所における PM2.5 の観測結果が、アメリカ式の大気質指数 (AQI) で表示されます。

<http://newdelhi.usembassy.gov/airqualitydataemb.html>

(以下のサイトで、アメリカ式 AQI から PM2.5 濃度への変換が可能)

http://airnow.gov/index.cfm?action=resources.aqi_conc_calc

(出典)

1. Central Pollution Control Board (CPCB) 年次報告 (2010-2011)

http://www.cpcb.nic.in/upload/AnnualReports/AnnualReport_41_Annaul_Report_2010_11.pdf

(参考資料)

1. 在インド日本国大使館ホームページ「大気汚染関連情報」

http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/pollution_info.html

2. 環境省ホームページ

微小粒子状物質 (PM2.5) に関する情報

<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>

微小粒子状物質 (PM2.5) に関するよくある質問 (Q & A)

<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info/attach/faq.pdf>

(問い合わせ窓口)

- 外務省領事サービスセンター

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902

(外務省関係課室連絡先)

- 外務省領事局政策課 (海外医療情報)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2850

- 外務省 海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>

(携帯版) <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>